

オフィシャルイベント

INTER BEE IGNITION × DCEXPO

INTER BEE IGNITION × DCEXPO

会 期：幕張メッセ会場：11月15日（水）～17日（金）、オンライン会場：11月6日（月）～12月15日（金）

会 場：幕張メッセ、オンライン

Inter BEE主催：（一社）電子情報技術産業協会

Inter BEE運営：（一社）日本エレクトロニクスショー協会

INTER BEE IGNITION × DCEXPO共同運営：（一財）デジタルコンテンツ協会

対 象：XR（VR/AR）、CG、3D映像／音響、人工知能（AI）、メタバース、ブロックチェーン、超臨場感映像、プロジェクションマッピング、ドローン、ロボティクス、インタラクティブシステム、モーションシステム、メディアアート、その他先進映像表現技術、4K/8K プロジェクタ、デジタルサイネージ、ライブエンターテインメントテクノロジー、空間演出、演出用特機、照明システム、ビックデータ、クラウド、IoT、その他表現・体験技術

公式サイト URL：<https://www.inter-bee.com/ja/forvisitors/conference/ignition/>

出展社数：47社

内 訳：（国内出展社数：45社 海外出展社数：2社）

出展参加国と地域数：2つの国と地域

■開催内容

デジタルコンテンツEXPO（DCEXPO）は、先端技術とコンテンツをテーマにした国際イベントとして、コンテンツ産業のイノベーションの促進に貢献し、INTER BEE IGNITIONは、拡張するメディアとエンターテインメント世界における先進映像表現技術の可能性を発信してきた。コンテンツ産業とエンターテインメント産業におけるイノベーション＆ビジネスの最前線への進化を目指し、日本の先進映像技術や先端コンテンツ制作技術をより広く発信するため、2022年よりDCEXPOとINTER BEE IGNITIONは融合し、「INTER BEE IGNITION × DCEXPO」として実施した。幕張メッセでの技術の体験展示やステージイベント、VR体験のほか、テーマに沿ったコンファレンスをオンラインや幕張メッセ国際会議場で開催し、国内外の登壇者が最新の情報を発信した。

■2023年度の新規取り組みとその成果・特色など

基調講演では、Metaリアリティ・ラボ・リサーチのVRデバイス開発者Dr. Yang Zhaoが登場し、東京大学教授であり長年バーチャルリアリティや人間拡張工学等の研究に携わる稲見昌彦氏と対談した。モデレーターには、奈良先端科学技術大学院大学教授 清川清氏を迎え、HMDの進化がVRの未来をどのように変えていくのか、新しいテクノロジーが拓く可能性が語られた。また企画セッションでは、AI、メタバース、Web3、XRなど、先進的なコンテンツ技術やヴィジュアルテクノロジーの視点でこれからの社会とビジネスを考えるセッションが多数実施され、Vライバーがスタートアップを紹介するセッション等も注目を集めた。また2023年は初の試みとして「スタートアップエリア」を設置。21社のスタートアップが出展し、活発に意見交換やマッチングを行う様子が見られた。経済産業省がスタートアップの海外展開を支援する「TechBiz：Technology Business Acceleration Program」では8件の採択技術を展示し、様々な来場者とのマッチングが行われた他、革新的なコンテンツ技術を表彰する「Innovative Technologies 2023」もブースを出展し、話題を呼んだ。基調講演に登壇したMeta社は、日本初の「Butterscotch Varifocal」（VR/MRの新プロトタイプ）のデモを出展し、多くの来場者を集めた。また会期2日目には、ステージにて「スタートアップネットワーキングレセプション」を実施、オープンマイクの形式で多数のスタートアップがピッチで自社の製品やサービスをアピールし、積極的なネットワーキングが行われた。

